

日本自律訓練学会第34回大会抄録集

大会長挨拶

第34回大会長 石川 俊男 国立国際医療研究センター
国府台病院心療内科

東日本大震災から半年がたちましたが、未だに余震が続き放射能汚染も深刻で、被災地では瓦礫の山が残されたままのところも少なくなく、復旧・復興にはまだまだ道遠しといったところです。被災されました会員の皆様には改めてお見舞い申し上げます。

さて、日本自律訓練学会第34回大会を主催させていただき誠に光栄に思っております。しかしながら、このようなわが国の状況のなかで本学会がどのような形で被災された人々へ援助ができるのかは定かではありませんが、復旧・復興へむけた日々の生活に求められますのは、あきらめない気持ちもさることながら、一時の癒しではないでしょうか。

本大会のテーマは「癒しと自律訓練法」といたしました。そのときにはこのような大惨事は想定外でしたが、いまやこの時期にふさわしいテーマでもあるのかなと思っております。特別演奏として著名なバイオリニストである瀬崎明日香さんをお招きして、癒しを創出する芸術家が如何に集中力を高めて癒しを演出するのかなど、一見正反対に見える有り様のなぞを解き明かすことにより、癒しの持つ意味、もしくは受動的注意集中の意味をも明らかにできればと念じております。瀬崎さんにはお話だけではなく数曲の演奏もお願いしており、一流プロの技や音楽をもお楽しみいただき、少しでも癒しの時間を過ごしていただけたらと考えております。

他にも久保千春理事長の講演、「自律訓練法と EBM」とのテーマでの教育講演、シンポジウムは「自律訓練法の集団療法と個人療法の相違と適応について」をテーマに行われる予定にしております。一般演題も11題、ワークショップ型研究発表は4セッション8題集まり活発な議論をお願いしたいものです。さらに第3日目には学会主催講習会も行われ、盛りだくさんの内容で開催させていただきます。是非ご参加ください。

今回の会場は私どもが所属する国立国際医療研究センターの国際医療協力研修センターを使わせていただきました。ちょっと古めかしい施設ですが、漂流し続けてきた(?)国府台病院がようやくたどり着いたナショナルセンターでございます。今後も同センターで継続して心療内科を盛り上げていく所存でございますので、会員諸兄におかれましては何卒よろしく願いいたします。

最後になりましたが、多くの個人および団体より温かいご支援をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。